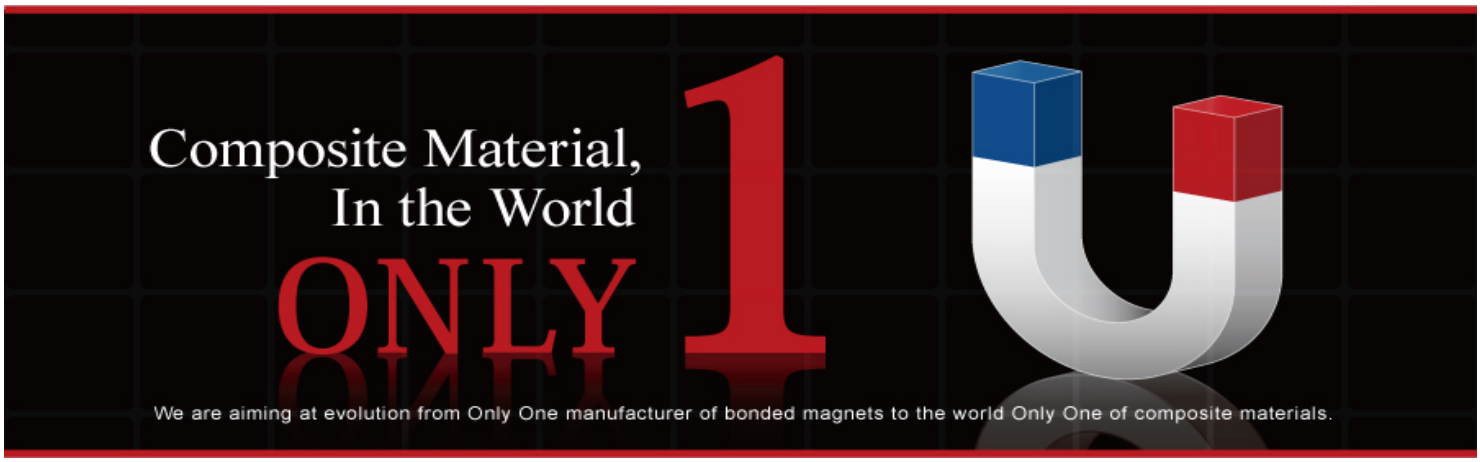
MATE




【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】
・フェライト系コンパウンド
・ネオジム系等方性コンパウンド
・ネオジム系異方性コンパウンド
・サマコバ系異方性コンパウンド
・希土類+フェライト系コンパウンド

【射出成型用軟磁性プラスチック材料】
・ソフトフェライト系コンパウンド
・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト
《営業部》
〒709-0514
岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL：0869-88-1888 / FAX：0869-88-0204

《東京営業所》
〒116-0014
東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301
TEL：03-5810-6825 / FAX：03-5810-6826

URL：http://www.mate.co.jp/

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reseved.

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が５月８日に５類へ引き下げられ、法的には季節性インフルエンザと同等の扱いとなったことから、６月開催の通常総会は、オンサイトとオンライン併用で実施した。

役員改選で、新会長に東英工業（株）の有泉豊徳氏が選出され就任された。そこで、BM 素心は、有泉会長に会長就任の挨拶と題してご寄稿頂いた。協会運営の基本および３大重要タスクの継続・発展の決意、34 年間の長きに亘る本人の BM 協会との関わりについて述べて頂いた。

森本前会長には新旧役員でのご挨拶および久しぶりに開催できた懇親会でお話を伺った。お話の内容は通常総会報告に掲載した。なお、会長就任中に突然起こったコロナ感染問題では、協会の運営について的確な判断をして頂くとともに色々ご指導を頂き、感謝申し上げる。

技術例会は恒例のボンド磁石生産推定報告の他に６件のご講演を頂いた。熱処理装置、やわらかい永久磁石、Sm-Fe 系材料開発の現状など魅力的なご講演であった。久しぶりに講演後に懇親会を行い、多くの参加者があった。当日の講演内容は講師の皆様にご承諾頂き再掲載した。

寺子屋 BM 塾は、元・新日本製鐵（株）、現在磁気技術コンサルタントとしてご活躍の開道力先生に電磁鋼板の基礎、モータや発電機用電磁鋼板、トランスやリアクトル用電磁鋼板についてご講義頂いた。第一回目の講義は初めてのハイブリッド開催であったこともあり、通信トラブルを起こしてしまいオンライン参加者には大変ご迷惑を掛けてしまった。ただしその後は、大きな問題はなく開催できた。講義内容は徳永寺子屋 BM 塾長に詳しく紹介して頂いたので参考にして頂きたい。

軟磁性材料研究会と圧粉磁心の規格化・標準化部会の討議の内容は飛世主査に詳しく紹介して頂いたので参考にして頂きたい。

寺子屋 BM 塾は初心者でかつ現場から離れにくい方々向けを主としているのでハイブリッド開催のメリットは大きいが、技術例会等は講師と対面で行うメリットが大きいと思われる。今後の進め方を技術委員とともに議論していきたい。

機関紙編集委員長
大森 賢次